

# 社会資本総合整備計画 中間評価

安心・安全で『すこやか』に暮らせるまち かしはら

奈良県 橿原市

評価結果のまとめ

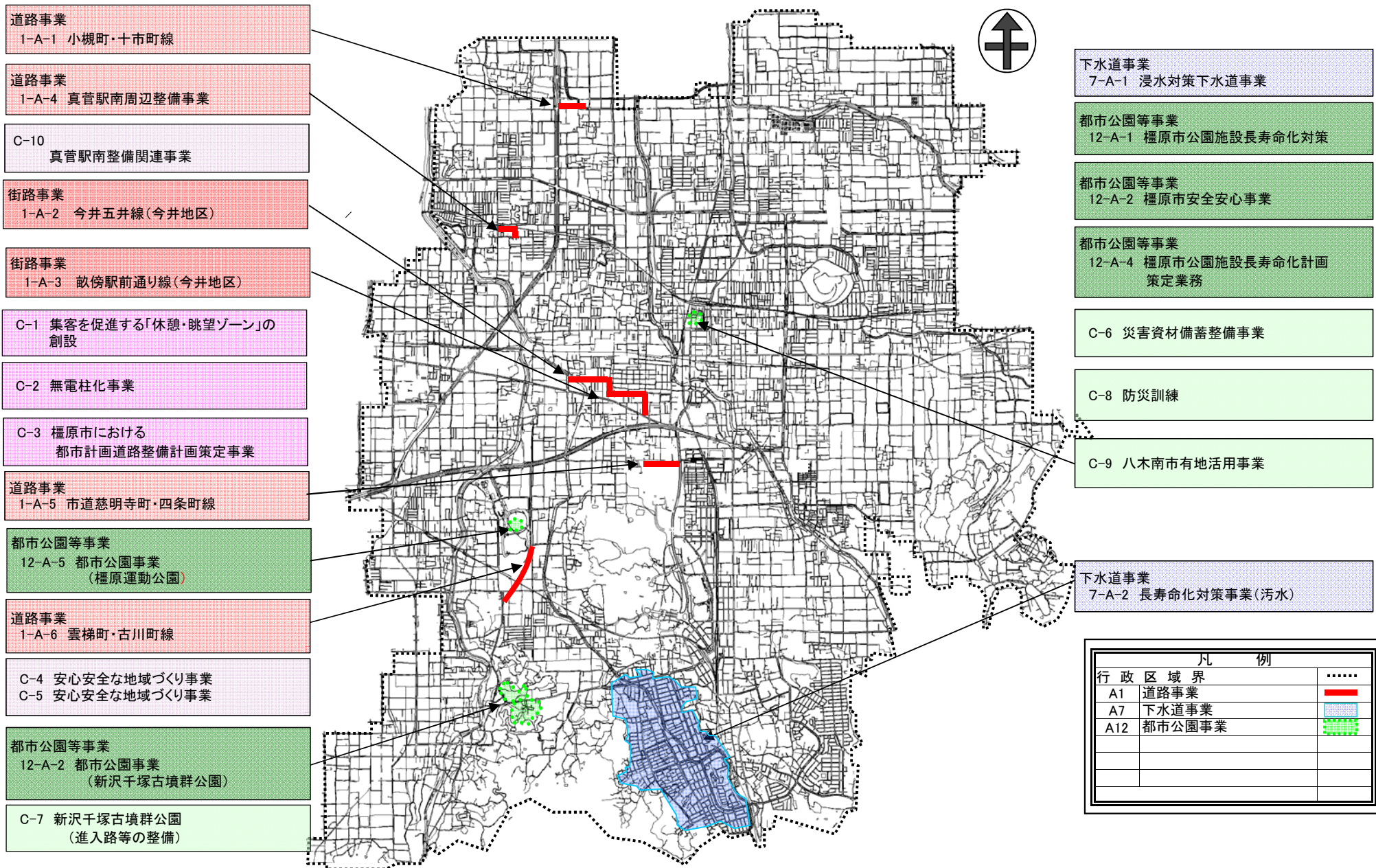
都道府県名	奈良県	市町村名	橿原市	計画期間	平成26年度～平成29年度	全体事業費	5,577,000 千円
計画名	安心・安全で『すこやか』に暮らせるまち かしはら						
計画目標	橿原市が掲げるまちづくりの理念である「人とともに、歴史とともに、やさしく強いまち かしはら」を実現するため、本市の個性ある特色を活かしたまちづくりを進めるとともに、少子高齢化社会等に対応した安心かつ安全で、災害に強い都市基盤整備や長寿化対策等を計画的に実施する。						

1)事業の実施状況	番号	要素となる事業名	削除・追加した理由		削除・追加による指標等への影響	
			追加	一部施設の老朽化に伴い新たな施設整備が必要となったため		
基幹事業	1-A-1	小槻町・十市町線			無し	
	1-A-2	今井五井線(今井地区)				
	1-A-3	畝傍駅前通り線(今井地区)				
	1-A-4	真菅駅南周辺整備事業				
	1-A-5	市道慈明寺町・四条町線				
	1-A-6	雲梯町・古川町線				
	7-A-1	浸水対策下水道事業				
	7-A-2	長寿化対策事業				
	12-A-1	橿原市公園施設長寿化対策				
	12-A-2	橿原市安全安心事業				
	12-A-3	都市公園事業(新沢千塚古墳群公園)				
	12-A-4	橿原市公園施設長寿化計画策定業務				
	12-A-5	都市公園事業(橿原運動公園)	追加	一部施設の老朽化に伴い新たな施設整備が必要となったため		
	関連社会資本整備事業					
	効果促進事業	C-1	集客を促進する「休憩・眺望ゾーン」の創設			
C-2		無電柱化事業				
C-3		橿原市における都市計画道路整備計画策定事業				
C-4		安心安全な地域づくり事業				
C-5		安心安全な地域づくり事業				
C-6		災害資材備蓄整備事業				
C-7		都市公園事業(新沢千塚古墳群公園)				
C-8		防災訓練				
C-9		八木南市街地活用事業				
C-10		真菅駅南周辺整備事業				
交付期間の変更	当初	平成26年度 ~ 平成29年度	変更	変更無し	—	

2)社会資本総合整備計画に記載した数値目標の達成状況	指標	単位	達成度(中間評価時)			目標達成度	達成見込みの有無		所見(効果発現要因等)
			当初現況値	中間目標値	中間評価値		あり	なし	
			H26年当初	H27末	H28.8				
指標1	市民アンケート調査による「災害に備える都市基盤と体制の強化」の満足度(%)を調査する。 満足度(A-B)＝「満足率」A(「満足」、「やや満足」と答えた人の割合%)－「不満足率」B(「やや不満」、「不満」と答えた人の割合%)	%	2.4%	6.0%	-2.4%	×	●	整備計画に従い事業は進捗しているが、整備途中の事業が大部分であることから「災害に備える都市基盤」としての機能を完全に満たしていない。また各事業が「災害に備える都市基盤整備」の観点で整備を行っていることに対する市民の理解度も低いように感じられる。今後は計画的な事業の進捗と併せて、広報活動等を通じて災害に関する取組みの周知を図るなどのソフト面の取り組みも必要となる。	
指標2	市民アンケート調査による「安全で快適な道路の整備」の満足度(%)を調査する。 満足度(A-B)＝「満足率」A(「満足」、「やや満足」と答えた人の割合%)－「不満足率」B(「やや不満」、「不満」と答えた人の割合%)	%	-23.6%	-10.0%	-20.5%	△	●	事業の進捗に伴い、満足度が増加することを見込んでいたが、市民アンケートの結果、当初現況値よりやや向上したが、目標値を下回る結果となった。限られた財源の中で、歩道のバリアフリー化を進めるなど歩道空間の向上や道路拡幅事業を実施しており、今後も計画的な道路整備を実施することで、安心・安全な暮らしの支援を進め、満足度の向上に努める。	
指標3	市民アンケート調査による「住み心地、住みやすさ」の満足度(%)を調査する。 満足度(A-B)＝「満足率」A(「満足」、「やや満足」と答えた人の割合%)－「不満足率」B(「やや不満」、「不満」と答えた人の割合%)	%	73.9%	74.0%	55.0%	×	●	事業の進捗に伴い、満足度が増加することを見込んでいたが、市民アンケートの結果、当初現況値を下回る結果となった。市民アンケートの自由意見欄の中で、歩道の拡幅およびバリアフリー化等の要望が多かった。限られた財源の中で計画に従い事業を実施しているが、市民ニーズに即した整備に一手に着手することは不可能である。今後も継続して事業に取り組むとともに、優先順位の見直しを行うなど、満足度の向上に繋がる整備を推進していく。	
指標4	橿原市の公共下水道(雨水)整備率(%) (概ね10年に1回発生する規模の降雨に対応できる区域の面積(ha))/(概ね10年に1回発生する規模の降雨に対し整備が必要な区域の面積(ha))×100(%)	%	46.1%	46.2%	46.3%	○	●	他事業による整備を含め、目標指標を達成することができた。今後は投資効果の高い整備計画と、他事業とも連携し整備率向上を図っていく。また、民間開発等において雨水流出の抑制に努めるよう指導をしていく。	
指標5	橿原市(白檜地区)の公共下水道(汚水)の長寿化対策率(%) =長寿化対策延長(km)/長寿化対策の必要な延長(km)×100(%)	%	20.0%	65.0%	36.8%	△	●	事業費が減額となっているが、与えられた予算の範囲で効率的に事業を実施しており、最終の目標指標は達成できる見込みがある。今後はコスト削減に取り組むなど、効率的な事業実施に努める。	
指標6	1人あたりの都市公園等面積(m <sup>2</sup> /人) 都市公園等の共用面積(m <sup>2</sup> )/橿原市人口(人)	m <sup>2</sup> /人	8.3m <sup>2</sup> /人	8.5m <sup>2</sup> /人	8.5m <sup>2</sup> /人	○	●	「シルクの杜」などの公園施設の整備が進んだ結果、目標指標を達成することができた。今後は、新沢千塚古墳群公園や植山古墳公園などの大規模公園の未整備部分を計画に沿って事業実施していく。	
指標7	公園の長寿化対策率(%) 長寿化対策を実施した都市公園数(箇所)/都市公園数(箇所)×100(%)	%	8.4%	17.2%	16.7%	△	●	公園施設長寿化計画の策定対象である都市公園245箇所のうち、これまでに22箇所の長寿化対策を実施した。今後は市民ニーズ等を考慮し、老朽化した危険な遊具の更新事業を計画的に実施していく。	
指標8	公園内便益施設(便所)のバリアフリー化率(%) 公園内便益施設(便所)バリアフリー化実施数(箇所)/バリアフリー化が必要な公園内便益施設(便所)数(箇所)×100(%)	%	68.4%	68.4%	68.4%	—	—	公園施設の長寿化対策等を重点的に実施したため、公園内便益施設のバリアフリー化については未着手の状態である。今後は実施時期や事業内容についての検討を継続して行っていく。	

3)定量的に表現できない定性的な効果発現状況	公園整備や公園の長寿化を進めることで、子どもたちが安全に遊べる場所や多世代が交流する場所が確保され、地域の活性化に繋がっている。
------------------------	--

#### 4) 地区の概要



道路事業  
1-A-1 小槻町・十市町線

道路事業  
1-A-4 真菅駅南周辺整備事業

C-10  
真菅駅南整備関連事業

街路事業  
1-A-2 今井五井線(今井地区)

街路事業  
1-A-3 畝傍駅前通り線(今井地区)

C-1 集客を促進する「休憩・眺望ゾーン」の創設

C-2 無電柱化事業

C-3 檀原市における  
都市計画道路整備計画策定事業

道路事業  
1-A-5 市道慈明寺町・四条町線

都市公園等事業  
12-A-5 都市公園事業  
(檀原運動公園)

道路事業  
1-A-6 雲梯町・古川町線

C-4 安心安全な地域づくり事業  
C-5 安心安全な地域づくり事業

都市公園等事業  
12-A-2 都市公園事業  
(新沢千塚古墳群公園)

C-7 新沢千塚古墳群公園  
(進入路等の整備)

下水道事業  
7-A-1 浸水対策下水道事業

都市公園等事業  
12-A-1 檀原市公園施設長寿命化対策

都市公園等事業  
12-A-2 檀原市安全安心事業

都市公園等事業  
12-A-4 檀原市公園施設長寿命化計画  
策定業務

C-6 災害資材備蓄整備事業

C-8 防災訓練

C-9 八木南市有地活用事業

下水道事業  
7-A-2 長寿命化対策事業(汚水)

凡 例		
行政区域界	.....	
A1 道路事業		■
A7 下水道事業		■
A12 都市公園事業		■

5) 総合所見	<p>国費が十分に配分されていない中、効率的な整備に取り組んできたが、指標1、指標2、指標3は目標値を達成することができなかった。特に指標1、3については大きく目標値を下回る結果となり、整備の効果を市民が実感していないように見受けられる。今後は積極的な広報活動を通して市の重要施策への取り組みについての理解度を高めてもらうとともに、市民ニーズに即した既存施設の維持管理や機能向上等にも積極的に取り組む必要がある。</p>
6) 今後の方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・限られた事業費の中での整備となるが、市の重要施策に関する整備と併せて市民ニーズにも即した整備も継続して進めていく。</li> <li>・長寿命化対策事業は、施設の老朽化による事故を未然に防ぐことや耐震性を向上させることを目標としており、引き続き実施する。</li> <li>・広報活動を通して、事業の目的や今後の整備方針等市民に情報を公開し、市の事業に対する理解度を高めてもらう。</li> </ul>